



11/9

税の滞納処分を推進 ～熊本県南合同公売会～

竜北体育センターにおいて、「第14回熊本県南合同公売会」を開催しました。

県南合同公売会は、税金滞納者から差し押さえた物品を換価することを目的に、参加市町村持ち回りで毎年開催しています。

今年は例年以上の来場があり、出品した248品中、230品が落札され、公売会への関心の高さが伺えました。来年度は11月に宇城市で開催する予定です。

町では、今後も滞納の縮減と納税への理解拡大のため、差し押さえなどの徴収対策に積極的に取り組んで参ります。



▲公売会の様子

11/10

健康について考える ～健康づくり大会～

文化センターにおいて、健康づくり大会を開催し、92人が参加しました。

済生会熊本病院循環器内科の田口英詞医師が「心臓病を正しく知って今日からできる予防と対処」と題し、心臓病の症状や治療法・対処法さらに予防の大切さを講演されました。体験コーナーでは、減塩カロリー調整レトルト食品の試食や血圧血流の測定などを体験しました。

参加者からは「食生活の見直しや定期健診で自身の体の状態を知ることが大切だ」との声が聞かれました。



▲血圧血流の測定体験

11/11

九州電力と災害復旧に関する協定を締結

役場庁議室において、(株)九州電力 八代配電事業所と「氷川町地区災害復旧に関する協定」を締結しました。

この協定は台風や地震などの被害災害が発生した時に被災情報の連絡を密にし、ライフラインの早期復旧を目的としたものです。

今後、災害発生時には早急なライフライン復旧に向けて一段と連携を深めていきます。



▲締結式の様子

■お詫びと訂正

12月号広報誌の「まちのわだい」中の記載内容に誤りがありました。

誤) 岡 悠里さん 正) 岡 侑里さん

読者の皆さまや関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

11/13

未来の発明王! ~発明工夫展で県知事賞を受賞~

第54回熊本県発明工夫展において、竜北中学校2年の栗原 巧さん（南鹿野）が県知事賞（グランプリ）を受賞しました。

発明工夫展は、県下の小中学生の発明工夫に関する優秀創造作品を展示することにより、広く県民の発明考案に関する意識、意欲を高揚し科学技術の振興および発展を図ることを目的として毎年開催されています。

栗原さんの作品は、大好きなおばあちゃんのために、靴下が楽にはくことができる道具を考案しました。靴下に道具を差し込んでひもを引っ張ると、腰掛けたままでも靴下をはけるアイデアを具現化しているということが評価されました。



▲新聞でも紹介されました!

11/15

総合振興計画の外部評価を行いました

町では、平成30年度からの10年間のまちづくりの指針となる第2次総合振興計画を策定し、「住民が安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能なまち」を目指してまちづくりを進めています。

そこで、総合振興計画の着実な推進を図るため、行政内部の評価・検証にとどまらず、住民による外部評価を行う総合振興計画審議会を開催しました。

会議では、町の施策に対して20人の委員から多くの意見が出され、取組みの改善に向けた助言などをいただきました。詳細については、町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



▲総合振興計画審議会の様子

11/15

「くまもとふるさと食の名人」感謝状交付式

ホテル熊本テルサにて、「くまもとふるさと食の名人」として15年間ご活動された野原博美さん（新田）に感謝状が交付されました。野原さんは平成17年度に「手作りケチャップライス」で食の名人の認定を受け、現在でも医療・介護施設にて月1回、料理教室を行っていらっしゃいます。

くまもとふるさと食の名人とは?

熊本県内の各地域で郷土の伝統料理などの知識、経験、技術などをもち、伝承活動に取り組んでいる人を県が認定するものです。



▲感謝状を受けた野原さん